



和田季子の

vol. 8

エネカアップ

Energy

新しいエネルギー源

世界では将来的なエネルギー需給ひっ迫を懸念して、エネルギー源の開発が行われています。今回は、今期待されている新しいエネルギー源についてご紹介します。

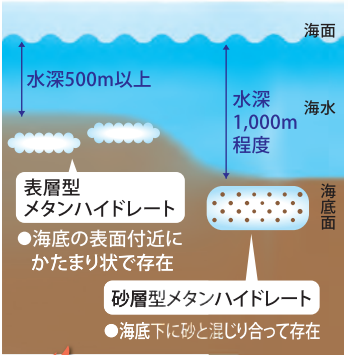
シェールガス

シェールガスとは、頁岩(けつがん)、シエールと呼ばれる硬い岩石に含まれる天然ガスです。長年シェールガスの存在は確認されていましたが、採掘が難しく経済的に生産することができませんでした。しかし、2000年代になると米国で採掘技術の開発が急速に進み、商業化に成功しました。残念ながら日本での埋蔵は確認されていませんが、日本もシェールガスを今後の長期的に安定した資源としてとらえており、新たな燃料として導入することが検討されています。

メタンハイドレート

メタンハイドレートとは、天然ガスの主成分であるメタンと水が結合してできた固体の結晶です。北極や南極のような永久凍土や深海の海底に存在し、日本周辺海域にも多く存在すると期待されています。現在、日本はメタンハイドレートの商業化に向けた調査や技術開発に取り組んでいます。

メタンハイドレートの埋蔵場所



燃える水とも
言われて
いるよ。

その他にも、海洋温度差、波力、海流などの海洋資源を活用したエネルギーの開発も進められています。

エネルギー自給率の低い日本にとって、新しいエネルギー源、特に自国で生産できるエネルギー源の開発が重要です。

新しいエネルギー源に期待しつつ、今あるエネルギーを大切に使いまわしましょう。



Next

次号で最終回となります。お楽しみに!

中国地域エネルギーフォーラム

〒730-0011 広島市中区基町5-44 広島商工会議所ビル4階
TEL 082-227-1044 FAX 082-227-1088 E-mail mail@cef.jp
HPにて「エネカアップ」バックナンバー掲載 <http://cef.jp/>

中国地域エネルギーフォーラムは、講演会やイベントの開催、エネルギー施設の見学会、学校への出前授業、学習教材の貸出しなど、エネルギーと地球環境に関する様々な広報・普及活動を行っています。

memo

シェールガスやメタンハイドレートは、新しいエネルギー源として期待される一方、採掘にともなう環境への影響(メタンの温室効果や地盤沈下など)が懸念されています。



米国から輸入するものができれば、輸入先の多様化になるわね!

シェールガスと一般の天然ガスの採掘イメージ



今回も一緒に
エネカアップ
行動できる力のことを
アップしましょう!



フリーアナウンサー
和田季子